

日本共産党 和歌山市会議員

# ひめだ高宏ニユース

No. 736

06. 9. 19

## 9月定例市議会報告



せつかくの連休が、台風で飛ばされてしまったのは、と心配しましたが、幸いにも進路がはずれまじた。宮崎県延岡市では竜巻で3人の方が死したとか。テレビでは、温暖化の影響を指摘する研究者の声を紹介していました。さて、今号は、9月13日(水)の私、ひめだの一般質問について報告します。

## 施策の優先順位と市民合意

私、ひめだの質問のノックは、施策の優先順位と市民合意についてです。

大橋市長は所信で「依然厳しい財政状況にある和歌山市政を運営していくには、

まちづくりの施策に取り組み優先順位を明確に打ち出し、市民に十分理解していただくよう努め、その上で投資すべきところには投資、我慢すべきところは我慢する」と述べました。このことは当然のことです。しかし大橋市長は、前期高齢者向けシヨイフルの廃止、幼稚園の廃園問題、障害者作業所への補助金削減など、市民合意の形成が十分に図らぬ市政への不信感を増大させたこともありました。一方でこれまで市政と違い、将来の財政予測を盛り込んだ財政健全化計画を特定、基金を使った小中学校の耐震化のほかは新規大型工事は極力押さえました。

今回の所信には、北インターチェンジ、直川の保健センター、コミュニティセンター、JR和歌山駅と南海

海市駅間の高架事業、和歌山大学新駅など新たな事業実施を掲げています。これらの施策の事業費と

市の負担額、財源見通しと財政健全化計画の関係、施策の優先順位と市民合意をどう進めるか質問しました。

## こんにちは

県会議員の

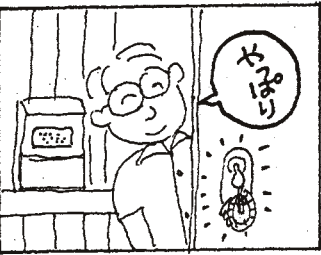
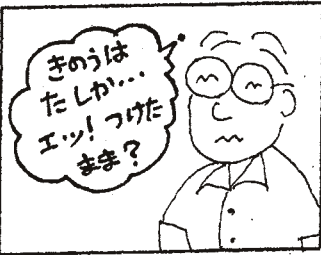
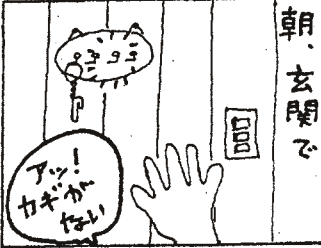
# ふじい健太郎

です。(その165)

疲れによる殺人や生活保護を断られ自殺するほど痛ましい事件があとをたちません。和歌山県でそのような事態にならないように社会保障予算の拡充と見守り、気配りの不足を職場づくりを求めます。また、高すぎる国民健康保険料の引き下げや保険料減免制度づくりへの支援を県が行うよう求めていきます。乳幼児医療は年齢が引き上げられましたが、妊産婦の検診や医療費への助成制度の創設も求めます。

## フリーの人々

<519>



ふじい健太郎  
県会議員

# 「安全・安心なまち」

## 「安全・安心なまち」

「安全・安心なまち」  
優しいまち」「快適なまち」  
「教育のまち」のうちの  
誇れるまちの実現に向けて、  
それぞれの取り組みの中か  
ら「全国モデルケース」  
となり、全国から注目を集  
めるような魅力的な施策が

私、ひめだの質問の2つ  
めは、市長の所信にある「  
全国のモデルケース」とな  
るということについてです。  
私、ひめだの質問の2つ  
めは、市長選挙における「  
市役所ぐるみ選挙」につい  
てです。週刊報道ワカヤマ  
No.77(8・8・11付け)は、  
和歌山市長選、市役所ぐる  
みの選挙活動に違法性高  
まる、市幹部、大橋市長の

5つの方向に異論はありま  
せんが、「安全・安心なま  
ち」で「地域子ども見守り  
隊」運動が全国のモデルと  
なるとも指摘されています。  
私、ひめだの質問の2つ  
めは、市長選挙における「  
市役所ぐるみ選挙」につい  
てです。週刊報道ワカヤマ  
No.77(8・8・11付け)は、  
和歌山市長選、市役所ぐる  
みの選挙活動に違法性高  
まる、市幹部、大橋市長の

の20・7%に達しました。  
国連は高齢者の増加に対  
応して、「高齢者の力を「持  
来の発展の強力な源泉」と  
位置付ける方針を出してい  
ます。自立、参加、ケア、  
自己実現、尊厳という「高  
齢者のための国連原則」の  
上になって、「高齢者の技能  
と経験、知恵を社会に生か  
そう」という方向です。

日本では自・公政権が  
盛んに「少子高齢化」を  
口実に、社会保障削減を  
進めています。老年者控  
除の廃止で住民税を増税  
し、国保料や介護保険料  
を引き上げさせました。  
年金は引き下げ医療費は  
上げるなど、長寿を素直  
に喜ばないこんな政治は  
早く止めさせましよう。

# こんなには 日本共産党



9月18日の敬老の日に  
合わせ総務省は15日現在  
の高齢者推計人口を発表  
しました。65才以上の高  
齢者は昨年から83万人増  
えて2640万人で人口

の20・7%に達しました。  
国連は高齢者の増加に対  
応して、「高齢者の力を「持  
来の発展の強力な源泉」と  
位置付ける方針を出してい  
ます。自立、参加、ケア、  
自己実現、尊厳という「高  
齢者のための国連原則」の  
上になって、「高齢者の技能  
と経験、知恵を社会に生か  
そう」という方向です。

日本では自・公政権が  
盛んに「少子高齢化」を  
口実に、社会保障削減を  
進めています。老年者控  
除の廃止で住民税を増税  
し、国保料や介護保険料  
を引き上げさせました。  
年金は引き下げ医療費は  
上げるなど、長寿を素直  
に喜ばないこんな政治は  
早く止めさせましよう。

# 投稿 「木曾路の旅」感想・早稲田ひで代

9月2日、3日、日本共  
産党和歌山県後援会のおさ  
そいで木曾路の旅に参加さ  
せていただきました。  
1日目は共産党員市長の  
田中勝巳木曾町長と懇談し  
ました。どのようにしたら  
住みよい町をつくれるのか  
自分の目で見て進めてきた  
とのこと。合併によって老  
人の足を守るために町民バ  
ス(1回200円)を走ら  
せ、「200円は安いよ、  
オレ500円出すよ」と言  
ってくくる老人もいるなど  
町民から喜ばれているよう  
です。旧木曾福島町長から  
合併選挙で木曾町長になる  
のはむつかしかったようで  
昔話もされていました。  
2日目は、妻籠宿の共産

めたい水も出た。早稲田ひで代  
汗も出ない気持ちのいい所  
を森林浴を楽しみながら歩  
き、山から湧水出している  
冷たい水もいただきました。  
中山道の片側は商店が並ん  
でいて、その中に伊藤母議  
の店もありました。桜の皮  
で作ったワッカの弁当箱や  
ワッカのおひつ、小さな入  
水物、すげ笠などが製造販  
売されていました。  
私は田舎者ですから百姓  
をしている時に、ワッカの  
弁当箱を持って仕事に行き  
山で食べた事があり、なっ  
かしかつたです。また連れ  
て行ってください。

めたい水も出た。早稲田ひで代  
汗も出ない気持ちのいい所  
を森林浴を楽しみながら歩  
き、山から湧水出している  
冷たい水もいただきました。  
中山道の片側は商店が並ん  
でいて、その中に伊藤母議  
の店もありました。桜の皮  
で作ったワッカの弁当箱や  
ワッカのおひつ、小さな入  
水物、すげ笠などが製造販  
売されていました。  
私は田舎者ですから百姓  
をしている時に、ワッカの  
弁当箱を持って仕事に行き  
山で食べた事があり、なっ  
かしかつたです。また連れ  
て行ってください。